

学校だより



〈いよくふう〉

校訓 継続は力なり

## 鴻巣市立吹上中学校

学校だより「緑風」は、毎月本校HPに掲載しています。

本校HP <https://fukiage-j-konosu.edumap.jp/>

令和6年5月1日(水) 第2号

### 校訓「継続は力なり」

校長 二瓶 亮

風薫る季節となりました。時間割による授業も始まり、程よい緊張感の中で真剣に学ぶ姿勢や積極的な発言、個人用端末やICT機器を活用した授業が行われています。先月19日(金)には部活動発足会があり、1年生が入部してより活気ある部活動が行われています。さらに体育祭の練習も始まっており、学校生活の様々な場面で、吹中生の輝く姿が見られます。先月12日(金)の授業参観、26日(金)の部活動保護者会で保護者の皆様には吹中生の様子を御覧いただきました。今後も吹中生の成長する姿をご期待ください。

ちょうど1年前、新型コロナウイルスが感染症法上の分類で5類となり、それまでの制約、制限が緩和されました。それに伴って生徒の学校生活も少しずつではありますが、元の状態へ近づけてきました。コロナ禍において見直してきた活動を含め、これまでの吹上中学校での取組の素晴らしさを再開し、継承しながら、新たな時代を迎えるのに必要な変化にも対応できるよう、「生徒が主役」の学校づくりを保護者や地域の皆様の御支援のもとで推進していきたいと考えます。

さて、私は毎日、「生徒の下駄箱を覗く(靴揃えを見る)」ことを日課としています。これは私が初担任をした時に、当時生徒指導主任をしていた先輩教師から教わったことで、その先輩曰く「生徒の下駄箱(靴の状態)を見れば生徒の心の健康状態が分かる」というものでした。最初のかかと潰しをしている生徒に注意するところから始めましたが、毎日見ていると気付くことがあり、それをきっかけにして生徒とのコミュニケーションにも生かしました。現在は当時と立場が違っているので全校の生徒の下駄箱を見回り、靴そろえの状態や欠席している生徒を確かめながら靴のかかたと揃えています。今年も2,3年生のかかと揃え率が高く、1年生はまだ下駄箱の中で靴が元気で、揃え甲斐を感じています。担任時代も校長になってからも毎日することで気付くこと、見えてくることがあります。それは小さなことですが、毎日の積み重ねでしか分からないことでもあります。本校の校訓「継続は力なり」を体感しています。



何事も「成果」や「答え」がすぐに欲しいと思ってしまうかもしれませんが、コツコツと積み重ねることでしか身に付かない力や出せない「答え」もあります。生徒たちにはこの5月に早速、中間テストや体育祭があります。どちらも準備の段階からコツコツと努力することや仲間との協力・協働を積み重ねていかなければ、理想の結果を手にすることができません。吹中生はこれまで「継続は力なり」の校訓のもとで、学力を伸ばし、全力で行事に取り組んで、盛り上げることができるという伝統を受け継いできました。令和6年度もその姿勢を持って歴史を積み上げて欲しいと願います。



今後も、新しいことへチャレンジする吹中生、努力を積み重ねて自分の可能性を伸ばす吹中生への御支援、御協力をお願いします。